



実際に家庭での備蓄をしている人の割合はどれくらいでしょうか。
全国と比べて、鳥取県の家庭備蓄はどの程度進んでいるのでしょうか。

全国

『大地震に備えて食料や飲料水を準備している』という人の割合



45.7%

大都市：50.7% 中都市：46.5% 小都市：42.1%

(調査対象:3,000人) 内閣府「防災に関する世論調査」(平成29年11月)

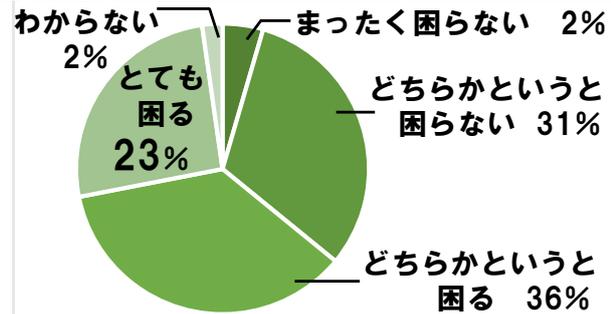
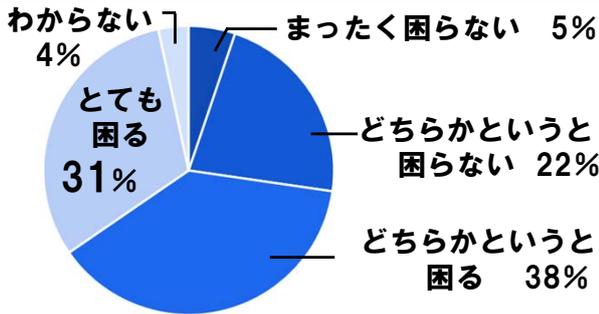
鳥取県民

(調査対象:1,004人)

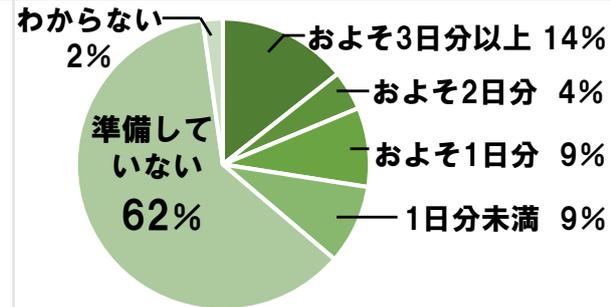
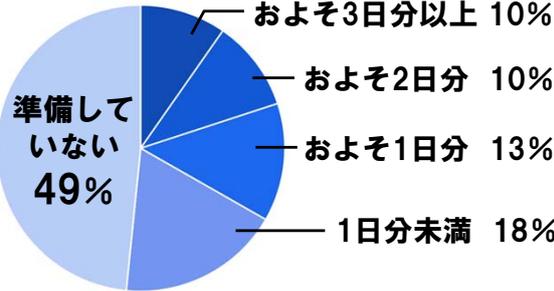
日南町民

(調査対象:94人)

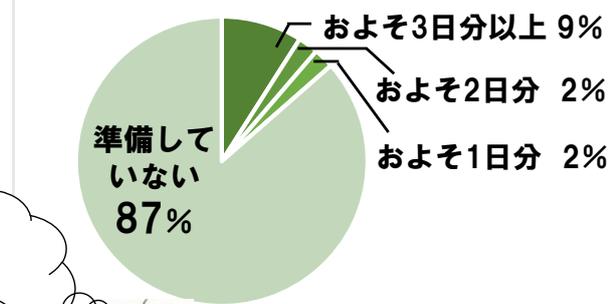
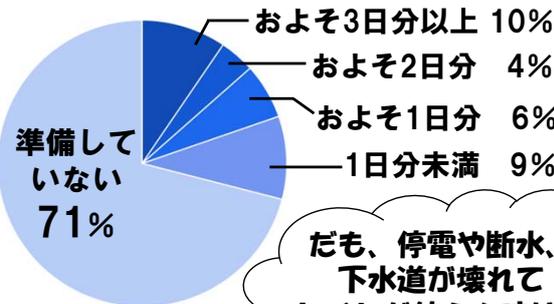
食材備蓄
についての
困り感



飲料水の
備蓄状況



携帯簡易
トイレの
備蓄状況



だも、停電や断水、
下水道が壊れて
トイレが使えん時は、
どげすーだ？

鳥取
県民

「食の備え」に関する意識



今は一人暮らしなので、
そこまで備蓄をしないでもいいと
考えてしまっています。

農家なので、米・野菜はあります。
水は、災害によっては山水が使えないし、
井戸水も停電するとポンプが止まります。
ペットボトルを準備すべき...？

防災物品は準備しているけど、
食事の配給は遅からずあると
期待してあまり準備していません。

避難所に行くことで、食料や
トイレは助かるかなと思って
います。自分自身で備蓄する
必要性をあまり感じていません。

そもそも役場には
どのくらい備蓄が
あるんじゃ？



県と市町村の備蓄品と数量

鳥取県では、役割分担をあらかじめ定めて備蓄する「**県と市町村の連携備蓄**」に取り組んでいます。

各家庭で
最低
3日分

自助

避難
人口の
1日分

地域・
ボラン
ティア

共助

公助

県

避難所で共通利用される大型の資機材
組立式仮設トイレ、ストーブ、発動発電機、
外部給電器、投光器、自動ラップ式トイレ

●避難所で必要な数量の概ね半分(各30台)。残
る半分は協定を結んだ民間業者等から調達する。

市町村

住民に身近なもので個人ごとに
必要とされる20品目(下記参照)

●不足数量については被災していない市町村や
協定を結んだ民間業者から応援を受ける。

日南町の災害用物資の備蓄状況(令和4年度改訂)

品目	備蓄数量	品目	備蓄数量	
① 保存食(乾パン等) ※アレルギー対策品を含む	657 食	⑩ 乾電池(単1・単3)	844 本	
② 災害時要援護者用保存食(アルファ米粥等)	100 食	⑪ ブルーシート#3000	149 枚	
③ 粉乳・ ミルク	粉乳※アレルギー対策品を含む	1 缶	〃 #3000以外	250 枚
	液体ミルク	24 本	⑫ ロープ	8 巻
④ 保存水(500ml・2Lペットボトル)	457 ℓ	⑬ タオル	200 枚	
⑤ 飲料水用ポリタンク・給水パック(袋)	1,230 個	⑭ ウェットティッシュ	16 箱	
⑥ 哺乳瓶	8 本	⑮ 衛生対策セット (歯磨きシート 60枚・吸熱シート 32枚・ ラップ4本・使い捨てスプーン 500本・ 割りばし 1,200膳・ポリ袋 400枚・ アルコール消毒液 90L)	⑯ ブルーシート張りセット (UV土のう 886枚・防水テープ 30巻・ ビニールハウスロープ 9巻)	
⑦ トイレットペーパー	24 ロール			
⑧ 生理用品	52 個			
⑨ 折畳式簡易トイレ (パック式セット)	トイレ本体	7 セット	⑰ コードリール	5 台
	収納袋・凝固剤	1,030 袋		
⑩ 毛布	293 枚	⑱ 発電機	2 台	
⑪ 紙おむつ(大人用)	2,220 枚	⑲ 投光器	6 台	
⑫ 紙おむつ(子供用)	144 枚	⑳ ガソリン携行缶	1 個	
⑬ 救急医療セット	12 セット	㉑ 給水タンク	1 基	
⑭ 懐中電灯	53 個			
⑮ ラジオ	13 台			



災害が起きると、お金があっても食料品や日用品が買えない、ケガを
しても病院ですぐに診てもらえないといったことが考えられます。
このため、**各家庭において救援がくるまでの間の最低3日分の食料と水、救急
医薬品などを非常持出品として準備しておいていただき、避難が必要になった
ときは非常用持出品を持って避難していただくようお願いしています。**

避難所に行き
何でももらえるわけ
じゃないんだな…
自分で備えんと!



ご意見・
ご感想は
こちらへ

